 **人権教育啓発ドラマ**
(平成14年度ストーリー公募作品より)

企画・製作／大阪府教育委員会
制作協力／(財)大阪府人権協会
制作／東映株式会社



ラブレター

Love Letter

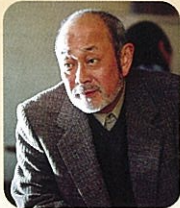
上映時間 54分

※字幕版ビデオあり

監督 井上泰治

■キャスト

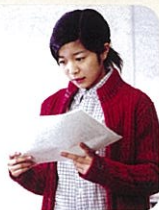
藤田弓子
三倉茉奈
中村節子
三原あや
次 朗
石倉英彦
加勢 功



佐川満男

■出演協力

大阪府民の
皆さん



この作品についてのお問い合わせは下記へ

 **大阪府教育委員会 地域教育振興課**

〒540-8571 大阪市中央区大手前2 電話06-6941-0351 内線(3465)

ホームページアドレス

<http://www.pref.osaka.jp/kyoishinko/chiiikikyoiokushinko/index.html>



人権教育啓発映画（平成14年度） ラブレター 利用のてびき

製作のねらい

識字学級で多くの仲間と学ぶ内田恵子は、かつて家が貧しいのも字が読めないのも、すべて自分の責任だと思っていた。識字学級に通う草間と出会った恵子は、識字は文字を学ぶだけのものではないことを知る。

一方、いじめにあい学校に行けず、自尊感情をずたずたに傷つけられ、自分というものをなくして過ごしてきたこと。そんなことと出会った恵子は、「自分を大切にすること」の意味を訴えかけていく。

ストーリー

識字学級に通う内田恵子（54歳）は、周囲の人たちを明るくする不思議な力のある女性である。恵子は、小学校の3年生までしか学校に通えず、読み書きができないことで差別を受けてきた。識字学級に通う草間俊夫（54歳）と出会い、読み書きを学ぶことにより、人間としての尊厳を獲得する強さを学んだ恵子は、現在では、ヘルパーをめざし生き生きと生活を送っている。

ある日、介護実習先の秋元まさ（80歳）の家で、孫の田原ことみ（16歳）と出会う。ことみはいじめにあい、現在はフリースクールに通っている。恵子は、自尊感情を傷つけられた彼女を、識字学級に誘う。識字学級には、結婚や仕事で日本に来た外国人、いろいろな理由で学校に行けなかった人たちが通っている。ちょうど、識字学級と中学生の交流会で、「あなたのこと大事に思うてます」というメッセージをこめた「ラブレター」を書くことになった。

恵子は、いじめにあっていることみを何とか救い出そうとする。恵子は、草間との出会いを語り、「字、読めんのは、あなたのせいやない。人間つまらん人間なんて、ひとりもおらん。字を読めん人間を笑うことの方がずっと恥ずかしいことなんや。相手に自分のことちゃんと話せる人間になって欲しい・・・。」と話す。

恵子の思いが強ければ強い程、ことみはついていくことができず、「おばちゃんたちは、字覚えて、自分の気持ち書いてどうするん？おばちゃんたち、ものすごい遠い世界に見えるんよ」と、ことみは恵子の手を振り払った。

翌日、恵子は言い過ぎたことを謝ろうとことみのところに向かうが、途中で交通事故にあう。ことみも恵子に謝るために識字学級に行くが、そこで金原（55歳）から恵子が事故にあったことを聞かされる。入院のための用意を整えるために、恵子の部屋に入ったことみは、恵子の着替えや洗面具を用意しながら、偶然にも彼女の24年前の古びたノートやプリントの束を見つける。

そこに草間の文字が浮かんでくる。「お恵ちゃん。自分を大事にしてください。そう人に言うのは恥ずかしいことやないんや。自信持って言えばええんや。なんも自分責めることあらへん。」

「自分が自分であるために、字覚えるんやで。わしら、自分にも誰にも心を縛られんために学んでるんやで。」ことみは、泣きながら読み、おばさんが自分のことをどれほど思ってくれていたのかに気づく。おばさんに会いたい。おばさんの顔が見たい。それは、生まれてはじめて感じる気持ちだった。

病院で、ことみは恵子に「おばちゃんの作文を読ませてもらって、ずっとこわがっていたらあかんというのがようわかった」と話し、恵子に内緒で、少しでも自分のことを語れるようにするために識字学級に通いはじめた。

1週間後、識字学級と中学生の交流会で、ことみは恵子との出会いを語り始めた。

「人はありのままの自分を受けとめてくれる人が欲しいのだと思います。そんな人がいてくれれば自分を大事にできるのではないかと思います。だから、ありのままの自分を受けとめてください。私もありのままのあなたを受けとめますから・・・それが私のラブレターです」と、たくさんの人の前でことみ自身の「ラブレター」を発表することができた。

話し合いのためのヒント

- 識字学級で学んでいる人たちの姿を見て感じたことを話し合ってみよう。
- いじめにあっていることみを救おうとした恵子の思いについて話し合ってみよう。
- 恵子に対して、「おばちゃんたちは、字覚えて、自分の気持ちを書いてどうするん？」と反発したことみの気持ちと書くことの意味を考えてみよう。
- 草間が恵子に語った「自分が自分であるために字覚えるんやで」という言葉の意味を考えてみよう。
- ことみが交流会で、「ありのままの自分を受けとめてください。わたしもありのままのあなたを受けとめますから」と発表するが、この言葉の意味を考えてみよう。

スタッフ

・プロデューサー
中鉢裕幸
喜多香織
進藤盛延

・脚本
秀島賢人